

点検・評価の結果

政府統計コード	00500232
基幹・一般の別(選択記入)	その他の一般統計調査
調査の名称	食品流通段階別価格形成調査(水産物調査)
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/> 月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(水産基本計画の見直し検討や食料の安定供給の確保に向けた食品流通の効率化・高度化、流通構造改革等を推進するための基礎資料として利用)
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1.調査の目的 <input checked="" type="checkbox"/> 2.調査対象の範囲※ <input checked="" type="checkbox"/> 3.報告者数等※ 〔 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 4.報告事項とその基準期日※ 〔 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 5.報告の方法※ 〔 報告を求めるために用いる方法 〕 <input type="checkbox"/> 6.報告を求める期間※ <input checked="" type="checkbox"/> 7.集計事項※ <input type="checkbox"/> 8.結果の公表方法及び期日※ 〔 調査結果の公表の方法及び期日 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 9.使用する統計基準 <input checked="" type="checkbox"/> 10.調査票情報の保存 〔 調査票情報の保存期間及び保存責任者 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 11.立入検査 〔 基幹統計調査のみ 〕 	<div style="border: 1px solid black; padding: 20px; font-size: 24px; font-weight: bold;">一部不整合あり</div>
-----------------------------	---	--

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②で記載

点検・評価事項等 不整合の項目	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況		
	不整合の概要 (該当項目に○を入力し、概要を記載。複数選択可能)		対応方法 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
6. 報告を求める期間※	<input type="checkbox"/> 調査実施期間(始期・終期) 調査の周期	<input type="checkbox"/> 調査票の提出期限 その他	<input type="checkbox"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定	次回調査における調査票の配布については、4月上旬の業者決定予定を踏まえ、実査準備期間を十分に確保する。 また、調査票の回収については、報告者に示す提出期限の後に実施する督促期間を含めずに設定する。
8. 調査結果の公表の方法及び期日※	<input type="checkbox"/> 公表実施時期 e-Statの掲載 その他	<input type="checkbox"/> 公表媒体 閲覧表	<input type="checkbox"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定	次回調査における調査結果の公表については、平成30年度調査の審査に要した期間を踏まえ、統計の精度を確認・確保するための期間を十分確保する。 また、利活用の時期を踏まえ、公表時期を設定する。
	特記事項 (○をつけた項目の概要を記載してください) 一部の調査票の配布については、調査計画では平成30年7月上旬としていたが、平成30年7月中旬に配布した。 調査票の回収については、調査計画では平成30年9月上旬までとしていたが、平成30年8月上旬までの提出期限を提示した。				
	特記事項 (○をつけた項目の概要を記載してください) 統計の精度を確認・確保するために時間を要したことから、概要公表及び詳細公表が期日から遅延した。				

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<ul style="list-style-type: none"> □ 課題なし □ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） □ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
---	---

	見直し・改善の概要(自由記入)	見直し・改善の内容(左記の類型) (該当するものを選択、複数選択可能)	見直し・改善の対応方法・手段 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)
記入欄 No. 1	前回調査の実施状況や利活用の状況を踏まえ、より質の高い統計が効率的に作成できるよう調査を見直す。	<input type="radio"/> 調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="radio"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定

③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々々前回調査)
1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	○ 達成精度	<ul style="list-style-type: none"> ・水産物漁業者段階調査及び水産物小売段階調査は、漁業者の販売価格を把握した調査結果がないため、関連性が強い水産物流通調査(日報)データを基に目標精度を5.0%に設定。 ・水産物産地卸売段階調査・水産物産地出荷段階調査・水産物仲卸段階調査は、代表的な団体や業者を有意選定することから、目安としている指標は設定していないが、有効回収率の実績は右記のとおり。 	平成30年度調査(総務大臣の承認年月日:平成30年6月14日)	平成30年度調査 ・水産物漁業者段階調査は実績精度4.8% (1経営体当たりの水産物全体の販売金額を指標) ・水産物小売段階調査は実績精度4.1%(1業者当たりの水産物全体の仕入金額を指標) ・水産物産地卸売段階調査は有効回収率89.9% ・水産物産地出荷段階調査は有効回収率74.2% ・水産物仲卸段階調査は有効回収率87.0%	平成27年度調査 目標精度の設定なし (実績精度なし)	平成26年度調査 目標精度の設定なし (実績精度なし)
	回収率・回答率					
	回収調査票数					
	カバレッジ					
	その他					
	○ 設定なし					